



目次	
絵本読み聞かせ勉強会	1
『アリエッタ』が開設	2
チャリティ映画のお誘い	3
スタッフひとことリレー	4
『ふるさと宅配便』よりお願い	4
寄付者のご紹介	4

このたびの台風 15 号では、千葉県を中心に大きな被害が出ました。亡くなられた方々におかれましては、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。たまたま一宮学園は停電も断水もなく無事に過ごすことが出来ました。いまだにライフラインが整わない地域があり胸が痛みます。一刻も早い復旧をお祈りいたします。

~~~~~ 『絵本お届け隊』 2期目がスタートします~~~~~

幼児のうちから心に栄養をと始めた事業「絵本お届け隊」も2年目となります。より効果的な読み聞かせができるよう、9月8日に同事業メンバー7人が勉強会を開きました。講師は、絵本メンタリング協会の高塚智美さんです。学んだことの一部をご紹介します。

6歳までに、脳の90%が成長し、特に、感情・感覚・イメージをつかさどる右脳が優位に働くそうです。

本を読むことの効果は…

- 音読では前頭前野が活性化され、知識や理解が深まるのでIQが高まる。
- 1対1の読み聞かせでは、上記に加え、情緒をつかさどる大脳辺縁系も活性化されるのでEQ（心の知能指数）も高まる。聴き手読み手ともにその効果が得られる。親子でなくてもよい。体温を感じられる距離で、関係性を深め合いながら読むことが大切。

効果的な読み方は…

- 自然な会話のスピードで読む。ゆっくり読んだり声色を変えたり、途中で質問したりしない  
→絵本の世界観をそのまま味わいイメージさせてあげる。



高塚智美さん

同事業で読み聞かせを届ける対象児童は6歳以下。施設出身の家庭の子どもと、学園の子どもに対して1対1で読み聞かせを行います。回数が少ないのが残念ですが、学んだことを活かしていきたいです。

◆地域小規模児童養護施設『アリエッタ』の開設◆

一宮学園副施設長 山口修平

児童養護施設は、保護、収容の時代から、新たな時代のニーズを踏まえ、国から社会的養護として発展的な展開が求められています。国から示された『発展的』の主な中身は ①小規模化②地域分散化③高機能・多機能化 の3つです。

\*\*\*国内最大級の定員規模で運営を続けてきた一宮学園では\*\*\*

①一昨年から段階的に定員を152名から104名へと減らし、それに伴い各生活グループを従前の19名から8名以下に順次移行しています。最終的には定員を約1/3まで減らし、全ての生活グループを8名以下にします。これは、大きい集団の中で生活するスタイルから、できる限り小さな集団で個々に手厚い養育の提供により、良好な家庭環境を提供することが目的です。

②大きな敷地に大きな建物、そこに大きな集団で生活してきたスタイルから、生活グループ(6名以下)を地域に分散した建物で生活する。地域住民とのコミュニティの中で暮らしを営むことが目的です。

『アリエッタ』には近隣に沢山の民家があります。ご近所付き合いを楽しみにしています。

③一宮学園には専門職が勤務しています。より高度な支援技術で様々なニーズに対応し、地域の子育て支援の包括的拠点として機能できるよう目指します。その一拠点として『アリエッタ』も創意工夫で取り組みます。

\*\*\*『感覚の回復』にこだわりました!\*\*\*

まずは調理。これまでは作り手の見えない大厨房で、調理された美味しい食事が生活寮に運ばれてきました。アリエッタでは、買い出しから調理までを子どもと職員で担います。味は調理員さんにはまだまだかかないませんが、そこには『音』と『匂い』がダイレクトにあります。ダイニングキッチン天井が吹き抜けになっているので、食材を切る音、炒める音が聞こえます。朝はお味噌汁の匂いが各居室に立ち込め、お目覚めです。『今日の夕食は翔ちゃん(職員)の唐揚げ!ヤッター』なんて日もそう遠くはないでしょう。近所からも生活音が聞こえてきます。ゴミも近所の集積場です。商店も近くなったので時々お使いもしてね。近所付き合いは、程よく気を使い共生することです。

様々な事情がありながらも、一宮学園で暮らす前は『地域での暮らし』に慣れ親しんでいたと思います。再び地域の中で生活することで、近所付き合い、音、匂いなどからプラスの刺激を受けて『感覚の回復』をしていくでしょう。子どもたちの成長を思いワクワクしています。

\*日の出・鷗から巣立った退園生へ\*

みなさんにとっての思い出の寮は閉鎖になりました。寂しさもあります。しかし、一宮学園の職員は在籍が長く、懐かしい職員がまだ沢山勤務しています。

お茶を飲みながら一緒に思い出を語りましょう!

新しくアリエッタとなった日の出・鷗を案内します。

待ってます。



## 映画のおさそい

10/12  
土曜日  
無料

一杯のカレーライスには、  
たくさん命がまつていました。



ドキュメンタリー映画

## カレーライスを一から作る

山崎・熊田士郎 / 神奈川芸術大学 熊田士郎

トークにも是非ご参加ください

児童養護施設って？ 虐待って？  
社会にどんな影響を与えるのかな？

同日2回上映します  
赤ちゃんルームがあります

- 会場● 一宮学園の会議室  
(一宮町一宮389番地)
- 1回目● 9:30~11:30 (受付 9:15)
- 2回目● 12:30~14:20 (受付 12:15)
- トーク● 14:30~16:00

\*\*\*\* 申込・問い合わせ \*\*\*\*

電話で 080-6535-0977 (荒木)  
メールで hajimeno.1.2.3po@gmail.com

## いっぽスタッフ ひとこと！

◆酒井昌雄さん◆（主にウォーカーとの面談を担当しています）



9月9日に千葉県を襲った台風15号によって人々は、炎暑の季節の長期間の停電が、日常生活にどれほどの苦痛をもたらすかを思い知らされました。幸いにして一宮学園は無事でしたが、多くの地域でライフラインが途絶え、物資の不足が生じました。風速40mの風に耐える程度の送電線では、強度が不十分であることもわかりました。関係者はそれぞれ今回の経験をもとに、今後の災害対応を強化していくことになるでしょう。でも、怖いのは「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ことです。不幸な出来事があってもその教訓や反省

そうならないように、今のうちに問題をきちんと記憶や記録にとどめておきたいものです。ここで話は多少脱線します。忘れることは時として罪深いことですが、一方で忘れることは人間にとって大切な能力でもあり、私達は過去にうけた痛み、悲しみ、苦しみ、などを少しずつ忘れることによって、自然と日々のストレスを軽減し、何とか前向きに生きているように思います。それにしても必要なことは忘れずに、忘れたほうがよいことは忘れましょうという使い分けは、我々凡人には実はなかなか難しく悩ましいです。

★ 1人暮らしのあの子へ送る『ふるさと宅配便』からのお願い ★

食品なら ご飯パック、米、餅、缶詰、レトルト食品、カップ麺、日持ちするお菓子 など  
雑貨なら バスタオル、携帯カイロ、ハンドクリーム など

12月は『家族』を感じる季節です。ひとりじゃないよ、の気持ちを込めて、健康を願った品々を届けます。

×切は12月4日（水） 080-6535-0977（荒木）までご連絡を。

ありがとうございました

2019年6月12日～9月10日にいただいたご寄付（順不同・敬称略）

映画協賛の皆様のご紹介は次号でいたします。

- ◆寄付金◆ チェン有美子 / 山口綾香 / （有）折平 / 近藤範夫 / 糸瀬悦子 / 古寄英俊 / イトウユタカ / （有）トップ・プランナー山奥努 / 匿名の皆様  
◆物品◆ 今野美佐 / 三芳堂

### ●支援のお願い●

ゆうちょ銀行 口座番号 00170-8-663629 一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会  
★他金融機関からの振込用口座は 店019 当座 0663629  
★ご寄付はいくらからでも結構です。

一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 389 番地一宮学園内

事務局 電話 080-6535-0977 E-MAIL hajimeno.1.2.3po@gmail.com